

愛知大学東亜同文書院大学記念センター 公開講演会

東亜同文書院大学の上海交通大学への移転

—— ハイ コー ロ
海格路キャンパスは
「借用」か「占拠」か ——

日時 2009年11月28日(土) 14:00~16:00

会場 愛知大学豊橋校舎 研究館1階1・2会議室
※豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅 下車すぐ

講師 北川文章氏
元霞山会理事長・現上海交通大学客員教授
(東亜同文書院大学46期生・愛知大学昭和26年卒業)



東亜同文書院大学は、昭和20年大戦の終結と共に他律的不可避的に45年の幕を閉じた。それ以前に大学史上のハイライトを求めるならば、昭和14年の大学昇格となる。その舞台となり終末まで実質母校であり続けたのが海格路キャンパスである。この新校舎への移転を巡る諸問題—借用とされているが?相手は国立大学、教育部の対応は?当時、交通大学本体は重慶に疎開中?—これらは全て伝聞もしくは、大学史等の資料に基づく。当時の流動的日中間の政治環境、租界の存在等が、問題を複雑にしていたことは否めない。何れにせよ実態があまりにも不明確である。幸い近頃、交通大学の協力で新たな資料を提供され、不透明部分も明らかになりつつある。あらためてこの問題をとりあげ、自分なりの考察を加えたい。

入場無料

どなたでも自由にご参加ください。

お問い合わせ

愛知大学東亜同文書院大学記念センター/オープン・リサーチ・センター
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL (0532) 47-4139 FAX (0532) 47-4196
愛知大学豊橋研究支援課 E-mail:tshien@ml.aichi-u.ac.jp